

平成 27年 05月 23日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

さぬきエコハウス link GAINAISM

グループの名称

協同組合耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ

直近採択グループ番号

04-0368-0410

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

津山 哲郎

代表者印

代表者所属先

津山建材株式会社

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

香川県坂出市白金町3-10-21

代表者電話番号

0877-46-2635

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社大丸工業

事務局構成員番号

VI-1

事務局担当者名

魚谷 陽一

印

事務局郵便番号

763-0095

事務局所在地

香川県丸亀市垂水町3145-1

事務局電話番号

0877-28-6195

事務局FAX

0877-28-6278

事務局担当者E-mail

uotani@ahomes.info

1. 地域型住宅の名称(必須)	さぬきエコハウス link GAINAISM
2. グループの名称(必須)	協同組合耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0368-0410
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	香川県
5. 結成年(必須)	2011 年
6. グループ代表者名(必須)	津山 哲郎
7. グループ代表者の所属先(必須)	津山建材株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	香川県坂出市白金町3-10-21
10. グループ代表者電話番号(必須)	0877-46-2635
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社大丸工業
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	魚谷 陽一
14. グループ事務局郵便番号(必須)	763-0095
15. グループ事務局所在地(必須)	香川県丸亀市垂水町3145-1
16. グループ事務局電話番号(必須)	0877-28-6195
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0877-28-6278
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	uotani@ahomes.info

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	5	
V. 設計	3	
VI. 施工	14	
VII. 省エネルギー設備等の流通	4	
VIII. 木材を扱わない流通	5	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	四国産材	四国4県	合法木材証明書	3	国内
	香川県産ヒノキ、スギ	香川県	香川県産木材認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 32 戸		地域材加算合計 32 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 14 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 18 戸		
	うち申請が確実 8 戸	うち申請が確実 8 戸	地域材加算(うち申請が確実) 16 戸	
	うち申請が未確定 6 戸	うち申請が未確定 10 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 16 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 14 戸	地域材加算合計 14 戸		
	うち申請が確実 3 戸	地域材加算(うち申請が確実) 3 戸		
	うち申請が未確定 11 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 11 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 10 戸	地域材加算合計 10 戸		
	うち申請が確実 4 戸	地域材加算(うち申請が確実) 4 戸		
	うち申請が未確定 6 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 6 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 棟	m ²		
	うち申請が未確定 棟	m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	補助事業を希望する施工事業者前者に最低1棟配分する。基本は平等に配分するが、まず長期優良住宅や認定低炭素住宅及びゼロ・エネ住宅の実績がない、少ない工務店を優先し、次に受注が確認されている工務店を優先する。今年度は未経験だが供給量の多い施工事業者が加わったので、長期優良住宅の数及び補助金希望が増加すると予想される。			
--	---	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 13 戸	交付申請戸数 11 戸	竣工済 3 戸	竣工予定 8 戸
	木造建築物			
	採択棟数 棟	採択床面積 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) さぬきエコハウス link GAINAISM	(地域型住宅供給対象地域) 香川県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 協同組合耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0368-0410	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	「耐震」「省エネルギー」「エコロジー」 安全で健康・快適でかつ地球環境に優しい家造りをするために、地域型住宅の仕様は以下とする。 ・耐震等級は原則3 ・外皮性能はUa値=0.75W/m ² ・K以下 ・C値=1cm/m以下	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・地産地消による地元活性化と林業の再生、建築時のエネルギーを低減するために、四国産の木材を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	ハックデザインの手法を取り入れた設計を行い、クライアントへ設計意図と生活の仕方の説明を行う。 ・香川県は冬の日射が多いため、日射の取得を考慮する。 ・夏場の日射の遮蔽を考慮する。 (必要があれば、簾やヨシズ外付のロールスクリーンやブラインドを提案する)	◎
④①～③の背景	香川県は温暖少雨の瀬戸内性気候に属し、災害は少ないが慢性的な水不足に悩まされているまた、周期的に発生している南海地震で過去には大きなダメージを受けたことのある地域である。しかし、県民の防災意識はあまり高くない地域である。また、H16の調査によると木材自給率は5%で外国産材への依存は日本一であり、H20の調査では空家率が日本一という、不名誉な一位を得てしまっている地域である。 また、温暖とはいえ冬の寒さによる病気の自宅死亡率は、脳血管疾患及び心疾患で四国は全国一である。(羽山広文氏他「健康と安全を支える住環境」より)	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	・慢性的な水不足対策として、雨水タンクの設置と節水型便器を使用する。 (使用する設備も節湯、節水タイプを極力使用する)	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	・共通の標準仕様書及び納まりを作成、運用する。	◎
②建材・資材調達共同化や事務の合理化	・地域型住宅に必要な材料の共同購入による供給価格のコストダウンを図る 節水型トイレ 雨水タンク 高性能サッシ	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	・標準仕様書・納まりと生産方法について、ワーキンググループを設け、地域型住宅の合理化を推進する。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	・ワーキンググループの開催と内容のとりまとめを行う。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	長期優良住宅の仕様に合わせて、下記仕様を地域型住宅の基準とする。 ・南海地震対策として、耐震等級は原則3とする。 ・CO2排出量削減のため、Ua値=0.75W/m ² ・K以下とし、防水紙は遮熱機能を有するものを使用する。(付加断熱の場合は不要) ・劣化対策として、気密検査を必ず実施する。(C値は1cm/m以下とする)	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	・外皮計算書の提出 ・気密検査報告書の提出 ・納品書の提出と施工写真の提出	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	・共通の見積書を作成し、クライアントへ提示する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	・クライアント向けの長期優良住宅やZEHの説明会を共同で開催する。 ・HP、SNSやブログにてインターネット上で施工等の情報を公開し、クライアントの信頼感を高める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) さぬきエコハウス link GAINAISM	(地域型住宅供給対象地域) 香川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 協同組合耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0368-0410	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	・長期優良住宅の普及促進に関する法律第11条第1項に準ずる方法にて履歴情報を保管する。 ・長期優良住宅未経験者に対しては、グループや経験者がフォローを行う。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	・共通の維持管理計画書にて定期的にメンテナンスを実施する。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	・施主OB向けイベントの際にメンテナンスに関する、予防保全的な提案及びDIYの相談を受けるようにする。	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	・グループ内に維持管理に関するワーキンググループを設け、方法、頻度等について会社枠を超えてノウハウを共有し、グループ構成員のレベルアップを図る。	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	・グループに「さぬきエコハウス無料相談窓口」を設けており、倒産・廃業の際の窓口となる。 ・住宅瑕疵担保保険を使つての施工の継続の際、グループ内工務店で地域型住宅のクオリティを保ち住宅を完成させる体制をとっている。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	・気密検査の義務付け。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	・ブログやSNSを利用し、クライアント向けにメンテナンス状況を発信していき、信頼感を高める。	◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	・長期優良住宅内容・申請及び外皮計算～一次エネルギー計算についての講習会を行う。 ・長期優良住宅の実際の現場による施工勉強会を実施する。	◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	・頻度:1回(必要に応じて追加実施する) ・内容 性能評価内容・申請、長期優良住宅内容・申請、外皮計算概要、一次エネルギー計算方法、25年省エネ基準 ・現場で長期優良住宅の実際の施工実例を説明	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	・今後、耐震や省エネルギー等について、性能の見える化が更に求められるようになると思われる。 ・消費税増税特需の反動や一次取得層減で全体の着工戸数は減り、性能のクオリティと低コストが求められると思われる。 ・電気代等のエネルギーコストのアップから外皮性能のアップと高効率機器が更に求められると思われる。 ・再生可能エネルギーについてのクライアントの意識が向上すると思われる。 ・食品のように構造材や建材についてトレーサビリティが求められると考える。 =>地域に良質な住宅を供給するために対応を取り組みたい	○
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	・性能の見える化=>施工事業者の技術力アップとグループ内設計事務所との更なる連携できる体制創り。 ・設備供給業者の意識アップと共同購入による高効率機器の仕入れ価格の低減とクライアントへの還元。 ・再生可能エネルギーについての勉強会の開催。 ・上流から下流までの関係作りと共同でのクライアントへの信頼性や安心性の紹介。	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	・工務店は必ず一社一名必ず受講する。	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	・グループからも省エネ技術講習会の案内を行い、参加を促す。 ・施工に携わるもの全て受講を奨める。	○
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	グループ内で実績の少ない省エネ性に優れた設備、機器等の紹介・説明会を行う ・樹脂サッシ、熱交換型24時間換気装置、ハイリット給湯器、ホウ酸での劣化対策、外付ロールスクリーン、断熱ブリーズスクリーン	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	地域型住宅にデータカーを設置し、ハットデザインや断熱性能等住環境の実証を行い、グループ内にデータをフィードバックする。	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	・建物の燃費計算及びハットデザイン、省エネ機器、設備の勉強会を例年に引き続き実施する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) さめきエコハウス link GAINAISM	(地域型住宅供給対象地域) 香川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 協同組合耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0368-0410	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須)</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用</p>	○
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④和の住まいの要素を取入れた取組</p>	○
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入</p>	◎

その他	<p>【平成27年度対応方針】</p> <p>東日本大震災の復興に資する取組</p>	◎、○ 記入欄
-----	--	------------

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

弊グループの地域型住宅のコンセプトに沿った一次エネルギーの削減を行う

- ・白熱灯は使用しない。
- ・エコキュートは年間保温効率率が3.0以上のものを使用する。
- ・水栓は必ず一項目は節湯型を使用する。(節湯A1、節湯C1、節湯B1)
※全て採用することが望ましい
- ・エアコンは原則エネルギー消費効率の区分は(い)のものを使用する。
- ・浴槽は原則高断熱浴槽を使用する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。